

調査研究活動実績

氏名 武石 利彦

令和4年度の政務調査研究に関する主な活動の実施状況を報告いたします。

1. 中山間地域対策の調査研究

中山間地域における高齢者の見守り、買い物弱者対策、移動手段の確保などについて調査研究を行った。山間集落における小売店に継続して営業していただくための課題調査、後継者に引き継ぐための調整や情報提供などの活動を行った。また集落活動センターの取り組みにおける成果と課題を探るとともに、事業の安定継続に向けた課題の調査も行なった。また地域おこし協力隊の活動についての調査研究も行った。

2. コロナ禍やウクライナ問題がもたらす農業への影響調査

燃油および農業資材の高騰による農業への影響および酪農分野への影響の実態を調査した。生産者とともに県に要望活動を行うなどして支援活動を行なった。

3. 動物愛護についての調査研究

保護犬、保護猫の増加が地域社会の課題になっている中、ボランティアの保護活動について調査研究を行なった。TNR活動の推進や獣医師の支援体制の構築に向けた活動、災害時にペットとともに避難できるようペット防災についても調査研究を行った。地震や豪雨により避難せねばならない状況下において、ペットを置いて避難できずに住民が被災するケースが懸念されている。引き続きペット防災についての調査研究に取り組む。

4. 健康長寿づくりについての調査研究

高齢者のフレイル予防についての調査研究を行なった。

特に医療機関との距離が遠い中山間地域の高齢者に向けた対策は急務である。

昨年に引き続き、医療関係者、薬剤師などと協議を進め、高齢者の健康長寿を延ばすための仕組みづくりに取り組んだ。またヘルスケアモビリティなどの遠隔診療が山間集落において求められている。引き続き山間地域における遠隔診療の推進に向けた調査研究に取り組む。

5. 災害に強い県土づくりにむけた調査研究

南海地震対策はもとより、本県特有の課題でもある台風による豪雨災害などに強い県土づくりに向け、豪雨災害の被災地におけるドローンによる状況撮影などに同行し、現状把握と再発を未然に防ぐための対策について調査研究を行なった。またゲリラ豪雨による浸水被害現場の状況を県とともに調査し、浸水被害を未然に防ぐ対策に取り組んだ。また農業地域においては引き続き営農を継続するため、農業者の懸念によりそう施策を講ずるよう県に訴えた。

6. 有機農業の推進に向けた調査研究

県内で有機農業に取り組む生産者の団体の取り組みを支援するとともに成果や課題について調査研究を行った。少量多品種の有機野菜の希少価値を高めるような販路の開拓、そのための知名度アップに取り組む活動を支援した。食の安全性への関心が高まっている中、中山間地域で付加価値の高い有機野菜づくりの取り組みを広げることは、移住者や若手の農業参入も期待できることから、地域の活性化にもつながるものであると考える。

7. 自然環境を守るための調査研究

NHKの連続テレビ小説らんまんの放送開始に向けて、観光客誘致などの取り組みが盛んになっている。自然環境や動植物への関心が高まるなか、動植物の生態系をしっかりと守り、後世につなげねばならない。天狗高原における希少植物の保護、県の鳥に指定されているヤイロチョウの保護など、生態系が壊されることがないよう常に留意しなければならない。引き続き関係者とともに調査研究に取り組む。

以上